

近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者 選定公募型プロポーザル
参加申込書類・技術提案書類及び電磁記録媒体作成要領

■参加申込書類について

1. 参加申込書類作成の留意事項

- (1) 提出書類は、各様式に基づき作成し、下記提出書類一覧の順番にまとめること。
- (2) 各様式（任意様式も含む）の大きさはA4判タテとする。また、文字のサイズは10.5ポイント以上とする。
- (3) 提出書類は、2穴綴じとし、フラットファイル、バインダー、紐綴じなど、簡易な綴じ方とする。
- (4) 正本1部を除き、企業等（住所、代表者、連絡先等）の名称を一切記入しないこと。（作成した企業等が類推できるような記述、ロゴ等の挿入も禁止する。）
- (5) ホッチキス止め、インデックス、見出し用ページ等による修飾は行なわない。

2. 提出書類一覧

	提出書類	様式	提出部数
①	参加意向申出書	様式1-1	正本 1 部 （(様式1-1)に押印したもの） 副本 1 2 部 （(様式1-1)に押印しないもの）
②	参加資格要件チェックリスト	様式1-2	
③	代表構成員の同種工事の施工実績	様式2-1	
④	代表構成員の施工実績A	様式2-1-1	
⑤	代表構成員の施工実績B	様式2-1-2	
⑥	代表構成員の施工実績C	様式2-1-3	
⑦	代表構成員の管理技術者の経歴等	様式2-2	
⑧	代表構成員の管理技術者の施工実績	様式2-2-1	
⑨	代表構成員の受賞歴	様式2-3	
⑩	構成員の担当技術者の一覧	様式3	
⑪	共同企業体協定書（甲型）	様式9-1	
⑫	委任状・使用印鑑届	様式9-2	

3. 各様式の留意事項等

提出書類	留意事項等
(様式1-1) 参加意向申出書	・ 正本1部は必要事項を記入した上で押印し、副本12部は押印しないこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者連絡先には配置予定の管理技術者の連絡先を記載すること。 ・建設業の許可証の写しを添付すること。 ・経営事項審査結果通知の写し（審査基準日が令和元年10月1日から令和2年9月30日のもの。）
(様式1-2) 参加資格要件 チェックリスト	
(様式2-1) 代表構成員の同種工事 の施工実績 (様式2-1-1) 代表構成員の施工実績 A (様式2-1-2) 代表構成員の施工実績 B (様式2-1-3) 代表構成員の施工実績 C	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度以降に元請として完成した、人口集中地区（DID地区）における橋梁上部工事及び橋梁下部工事（杭工）の施工実績を記載すること。それぞれの工事实績は、同一工事内に限らず、別工事でも可とする。なお、共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が20%以上であること。 ・上記実績以外に平成18年度以降に元請として完成した、以下に示す各A・B・Cの同種・類似工事の実績を有する者は、それぞれ最大5件まで様式に記載することにより加点評価する。なお、共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が20%以上であること。 <p>【同種工事 A】 鉄道近接の橋梁下部工事（杭工）</p> <p>【類似工事 A】 鉄道近接の橋梁下部工事（杭工に限らない）</p> <p>【同種工事 B】 橋長 110m 以上かつ幅員 4m 以上の歩道橋における鋼橋上部工事</p> <p>【類似工事 B】 橋長 55m 以上かつ幅員 4m 以上の歩道橋における鋼橋上部工事</p> <p>【同種工事 C】 杭長 50m 以上の橋梁下部工事</p> <p>【類似工事 C】 杭長 25m 以上の橋梁下部工事</p> <p>※仮に、同一工事内で同種工事 A、同種工事 B を施工していた場合、実績は 1 件としてカウントする。</p> <p>※加点評価となる A・B・C の同種・類似工事の実績は人口集中地区（DID 地区）に限らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリンズ（（一財）日本情報総合センターによる工事实績情報登録）登録の有・無のいずれかに○をすること。有に○を付した場合はコリンズの写しを添付すること。無に○を付した場合は契約書（工事名称、契約金額、工期、発注者、請負者の確認できる部分）の写しを添付すること。なお、コリンズ等で実績確認が不明瞭なときは、別途図面、特記仕様書等の工事内容の確認できる図書を添付すること。
(様式2-2) 代表構成員の管理技術	<ul style="list-style-type: none"> ・技術協力業務に配置予定の管理技術者を記入すること。また記載した資格を証明する写しを添付すること。

<p>者の経歴等</p> <p>(様式2-2-1)</p> <p>代表構成員の管理技術者の施工実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用関係（参加申し込みのあった日以前に3か月以上）を証明するもの（雇用保険証等）の写しを添付すること。 ・平成18年度以降に元請として完成した、人口集中地区（DID地区）における土木工事に、現場代理人、監理技術者又は主任技術者として従事した経験を記載すること。なお、共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が20%以上であること。また、その内容を証明する書面（コリンズ登録の写し、契約書の写し等）を添付すること。（工事内容が判断できる範囲のものを添付すること）。 ・上記実績以外に平成18年度以降に元請として完成した、以下に示す同種・類似工事に、現場代理人、監理技術者又は主任技術者として従事した経験を有する者は、最大5件まで様式に記載することにより加点評価する。なお、共同企業体の構成員としての実績の場合は、出資比率が20%以上であること。 <p>【同種工事】 鉄道近接の橋梁下部工事（杭工）</p> <p>【類似工事】 鉄道近接の橋梁下部工事（杭工に限らない）</p> <p>※加点評価となる同種・類似工事の実績は人口集中地区（DID地区）に限らない。</p>
<p>(様式2-3)</p> <p>代表構成員の受賞歴</p>	<p>本検討及び工事においては、設計業務受託者（デザイナー・アーキテクトを配置）によるデザイン管理が予定されており、意匠上も高品質な施工が求められる。そのため、平成18年度以降に道路、駅前広場、橋梁工事において下記表彰を受けた案件の施工実績を有する場合は加点を行う。最大3件まで実績を記入できるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> i) グッドデザイン賞ベスト100以上 ii) 土木学会デザイン賞 iii) 土木学会賞 田中賞（作品部門） iv) 国土交通省 都市景観大賞（都市空間部門） v) 公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター 都市景観大賞 vi) 都市計画学会 計画設計賞
<p>(様式3)</p> <p>構成員の担当技術者の一覧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術協力業務に配置予定の担当技術者を記入すること。 ・配置予定の技術者については、下記資格を保有する場合、それを証明するもの（有効期限内のもの）の写しを添付すること。 <p>一級土木施工管理技士/技術士（総合監理部門）/技術士（建設部門 鋼構造およびコンクリート）/技術士（建設部門 道路）/RCCM</p>
<p>(様式9-1)</p> <p>共同企業体協定書（甲型）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様式ごとに提示している事項に準じたうえで、必要に応じて記入枠の調整、罫線・段組等を編集して作成すること。また、各様式において記載事項が不足している場合等には、適宜、当該様式に記載事

	項を追加すること。
(様式9-2) 委任状・使用印鑑届	・様式ごとに提示している事項に準じたうえで、必要に応じて記入枠の調整、罫線・段組等を編集して作成すること。また、各様式において記載事項が不足している場合等には、適宜、当該様式に記載事項を追加すること。

■技術提案書類及び電磁記録媒体について

1. 技術提案書類及び電磁記録媒体作成の留意事項

- (1) 提出書類は、各様式に基づき作成し、下記提出書類一覧の順番にまとめること。
- (2) 各様式（任意様式も含む）の大きさはA3判ヨコとする。また、文字のサイズは10.5ポイント以上とする。
- (3) 提出書類は、2穴綴じとし、フラットファイル、バインダー、紐綴じなど、簡易な綴じ方とする。
- (4) 正本1部を除き、企業等（住所、代表者、連絡先等）の名称を一切記入しないこと。（作成した企業等が類推できるような記述、ロゴ等の挿入も禁止する。）
- (5) 様式ごとに両面印刷とし、様式ごとに頁数及び頁番号を記入すること。
- (6) ホッチキス止め、インデックス、見出し用ページ等による修飾は行なわない。
- (7) 専門知識を有しないものでも理解できるよう、分かり易い記載に努めること。
- (8) 必要に応じ、図表、写真等により文章を補完することは可とする。
- (9) 各様式において、表枠の大きさ、余白の設定は自由とする。
- (10) 下記提出書類等一覧の①～⑩をPDF化したデータを収納した電磁記録媒体(DVD-R/RW)を正本版・副本版にてそれぞれ提出すること。

※本要領に記載した事項以外の内容を含む技術提案書類が提出された場合は、当該提案書類を無効とし、審査対象から除外する。

2. 提出書類等一覧

	提出書類及び電磁記録媒体	様式	頁数	提出部数
①	技術提案書（表紙）	様式5-1	1頁	正本1部 (様式5-1)に 押印したもの
②	技術協力業務の実施方法	様式5-2	2頁以内	
③	技術協力業務の実施体制	様式5-3-1	1頁	
④	施工管理段階の実施体制	様式5-3-2	1頁	副本12部 (様式5-1)に 押印しないもの
⑤	四日市市内の建設事業者の活用方法	様式5-3-3	1頁	
⑥	技術提案内容（特定テーマi）	様式5-4-1	2頁以内	

⑦	技術提案内容（特定テーマ ii）	様式5-4-2	2頁以内	
⑧	技術提案内容（特定テーマ iii）	様式5-4-3	2頁以内	
⑨	技術提案内容（補足説明資料）	任意様式、 A3サイズ横	片面 10頁以内	
⑩	参考見積書（技術協力業務）	様式6	1頁	
⑪	説明用のパワーポイント資料 特定テーマ i～iiiに対する技術提案に係る静止画又は動画等 ※任意提出	DVD-R/RW	—	①～⑩のPDF化したデータを収納するDVD-R/RWに同梱して提出すること

3. 各様式の留意事項等

提出書類・電磁記録媒体	留意事項等
(様式5-1) 技術提案書（表紙）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正本1部は必要事項を記載したうえで押印し、副本12部は提出日のみ記載すること。（※副本には必要事項の記載・押印は不要） 提出部数は、正本1部、副本12部とする。 ・ 正本：技術提案書（表紙）（様式5-1）にプロポーザルで付与された名称を記入するとともに、共同企業体名、代表構成員名を記載、押印し、左袋とじとすること。 ・ 副本：技術提案書（表紙）（様式5-1）にプロポーザルで付与された名称のみを記入し、押印せず紙ファイルとじとすること。 <p>（※電子データ（PDF形式）も添付すること）</p>
(様式5-2) 技術協力業務の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計段階に行う技術協力業務は、プロポーザル用設計図書に示すデザイン・グレード・品質を確保することを前提に、実際の施工方法を考慮し、確実なコスト管理を行いながら設計者が実施設計を円滑に行うため、更には工事費の縮減と工期短縮を設計に反映するための技術協力を期待している。ECI方式の特徴を理解し、その手法等を以下 i) から iv) について具体的に記述すること。 i) 設計全般に対する施工者視点の技術検証ポイントと実施設計へのフィードバック方法 <ul style="list-style-type: none"> a. 設計内容を施工方法等施工者の視点で技術検証し、工事費の縮減と工期短縮も含めた実施設計へのフィードバックを行う具体的な提案 b. 設計者との円滑な情報共有手法の具体的な提案 c. 設計の性能目標を達成するためのシミュレーション及び工法

	<p>の資料提供に関する具体的な提案</p> <p>ii) 仮設計画を含めた施工計画や維持管理手法等の施工者ノウハウの実設計へのフィードバック方法</p> <p>iii) 技術協力業務の概略スケジュールと具体的な業務内容・想定される課題と解決策の提示</p> <p>a. 実設計の手戻り防止の具体的な提案</p> <p>b. コスト推移の確認とリカバリー時間の確保の具体的な提案</p> <p>c. 施工者ノウハウの実設計へのフィードバック時期の具体的な提案</p> <p>iv) その他技術協力業務を効率的に進めるための具体的な提案</p>
<p>(様式5-3-1) 技術協力業務の実施体制</p>	<p>今回の技術協力業務においては、通常の土木一式工事で考慮すべき技術的事項に加え、特注品対応等の意匠検討結果を反映した施工性検討、クスノキなど既存樹木の扱い、グリーンインフラやスマート化を見据えた各種センサーの設置等の新技術の適用など多岐に渡る技術的論点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術協力業務における、業務の実施体制を以下について具体的に記述すること。 ・技術協力業務の実施にあたってのチーム編成、チームの特徴、各担当者の実績・資格、発注者及び設計者との協議方法など <ul style="list-style-type: none"> a. 今回の業務において求められる専門分野とそれに対応するチーム編成およびチーム構成員等の特徴 b. 業務実施にあたっての各担当者の実績・資格の具体的な提案 c. 業務実施にあたっての発注者及び設計者との協議方法の具体的な提案 ・文章を補完するための概念図は用いてもよい。
<p>(様式5-3-2) 施工管理段階の実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施工管理段階における業務の実施体制を以下について具体的に記述すること。 ・施工管理段階におけるチーム編成、チームの特徴、各担当者の実績・資格、発注者及び設計者との協議方法など <ul style="list-style-type: none"> a. 施工管理段階において求められる専門分野とそれに対応するチーム編成およびチーム構成員等の特徴 b. 施工管理にあたっての各担当者の実績・資格の具体的な提案 c. 施工管理にあたっての発注者及び設計者との協議方法の具体的な提案 ・文章を補完するための概念図は用いてもよい。
<p>(様式5-3-3) 四日市市内の建設事業者の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市内の建設事業者への下請けの発注や技術協力業務の検討プロセスへの参画などの積極的活用の具体策について提案すること。その直接的な経済効果を数値化し、また、その検証方法

	<p>も併せて記述すること。</p> <p>※四日市市内の建設事業者とは、四日市市内に本店又は主たる営業所を有する建設業法における建設業許可業者をいう。(許可業種は問わない。)</p>
<p>(様式5-4-1)</p> <p>技術提案内容 (特定テーマ i)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のテーマの提案を具体的に記載すること。 <p>工事全体における現道交通への通行障害による影響の最小化（公共交通の定時性確保）、歩行者の安全確保など周辺環境における課題解決についての提案</p>
<p>(様式5-4-2)</p> <p>技術提案内容 (特定テーマ ii)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のテーマの提案を具体的に記載すること。 <p>今回の工事においては、軟弱地盤上の長杭（支持層50m程度を想定）の施工が施工計画上の大きなポイントとなると想定している。施工上の課題整理を行った上で、その課題に対する解決策の提案を具体的にを行うこと。その際、下記観点についての内容については、漏れなく記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 近鉄軌道、百貨店など構造物や建築物との近接施工について • 施工時の騒音、振動等の環境対策について • 歩行者用デッキ上部工における狭小ヤードでの施工について
<p>(様式5-4-3)</p> <p>技術提案内容 (特定テーマ iii)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のテーマの提案を具体的に記載すること。 <p>今回の工事においては、一部にレインガーデン等のグリーンインフラを導入する予定となっている。また、基本計画の共通のデザイン方針には「緑あふれる施設配置」「歴史や緑を活かした空間の設え」が目標として記載されており、既存樹木を可能な限り残置する計画としている。道路工事、橋梁上部工・下部工に加え、一部造園技術が求められる工事内容となるが、高木（樹高10m以上）に近接した土木工事、高木（樹高10m以上）の移植（移動距離100m以内）における施工上の課題整理と課題に対する解決策の提案を行うこと。</p>
<p>(様式6)</p> <p>参考見積書 (技術協力業務)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正本1部は必要事項を記載したうえで押印し、副本12部は提出日のみ記載すること。 • 内訳書（任意様式）を添付すること。 • 内訳書には積算根拠を記載すること。 • 参考見積書の提出がない場合は、失格とする。
<p>(DVD-R/RW)</p> <p>説明用のパワーポイント資料 特定テーマ i～iii に対する技術提案に係る静止画又は動画等</p>	<p>技術提案書類の記載内容と同一のパワーポイントや動画に限りません。</p> <p>特定テーマ i～iii に対する提案において、静止画又は動画等を用いることを可とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 静止画のファイル形式は、JPEG又はPNGとすること。 • 動画のファイル形式は原則MPEG-4とすること。

※任意提出とする。

・VRなどの任意に視点を変えて閲覧できるデータについては、Windows10のパソコンで起動が可能な閲覧専用アプリケーションとデータを併せて提出すること。（※閲覧専用アプリケーションの使用において、市に負担が発生するものは認めない。）